

## 会議の概要(議事録)

|               |  |                   |      |    |
|---------------|--|-------------------|------|----|
| 会議の名称         | (番号)<br>1 - 17   | 令和6年度 第1回墨田区環境審議会 |      |    |
| 開催日時          | 令和6年7月2日(火) 14:00~15:00  |                   |      |    |
| 開催場所          | 墨田区庁舎7階 庁議室  |                   |      |    |
| 出席者数          | 【委員】赤尾健一(会長)、日置雅晴(副会長)、江尻京子、藤崎こうき、おまた雄一、伊藤あすか、神谷守、小和田みどり、高森志文、澤田大輝、宇田川明、林家時蔵<br>(計12名)<br>【事務局】岩下資源環境部長、山中環境保全課長、菜原環境政策課長、柳すみだ清掃事務所長、環境保全課主査(石川、川瀬、後藤、高比良)、環境政策課主査(松本、荒井)すみだ清掃事務所係長(仲瀬)<br>担当係員(野村、仲戸川)(以上13名)   |                   |      |    |
| 会議の公開<br>(傍聴) | <input checked="" type="checkbox"/> 公開(傍聴できる) 部分公開(部分傍聴できる)<br><input type="checkbox"/> 非公開(傍聴できない)  |                   | 傍聴者数 | 1人 |
| 議題            | 1. すみだ環境フェア2024の実施について<br>2. 鳥獣被害対策の実施について<br>3. 雨水ネットワーク全国大会2024 in すみだの開催について<br>4. 審議会の統合・再編について<br>5. 意見交換   |                   |      |    |
| 配付資料          | 1. 第十期環境審議会委員名簿<br>2. すみだ環境基本条例<br>3. リーフレット『すみだ環境フェア2024』<br>4. 鳥獣被害対策の実施について<br>5. チラシ『雨水ネットワーク全国大会2024 in すみだ』<br>6. 環境審議会と廃棄物減量等推進審議会の統合・再編について  |                   |      |    |
| 会議概要          | 1. 区長挨拶<br>令和6年度第1回墨田区環境審議会の開催に際し区長から挨拶があった。<br><br>2. 委員の紹介<br>事務局から第十期委員の紹介を行った。<br><br>3. 会長・副会長の選任について<br>互選の結果、第九期に引き続き赤尾委員に会長、日置委員に副会長を務めていただくことになった。<br><br>4. 資料の説明について<br>事務局から、資料3「リーフレット『すみだ環境フェア2024の実施について』」、資料4「鳥獣被害対策の実施について」、資料5「チラシ『雨水ネットワーク全国大会2024 in すみだ』」、資料6「環境審議会と廃棄物減量等推進審議会の統合・再編について」の説明があった。<br><br>5. 意見交換<br>(赤尾会長) |                   |      |    |

事務局が行った説明について、議題の上から順番に一つずつ質疑させていただければと思う。まずは、すみだ環境フェア 2024 の実施について、何かご質問やご意見はあるか。

（宇田川委員）

環境フェアについて、すみだ環境共創区民会議では緑化推進に力を入れ、区内のグリーンスポットを紹介した。その際のツールとして、百花園や緑と花の学習園等の植物の写真をポストカードにして配布していた。ポストカードの裏面に QR コードを載せ、区のホームページの中のすみだ環境共創区民会議や緑化推進についても見ることができる。区のみどりについて興味を持ってもらうための大きなツールになっているが、お金の面でなかなか苦しいところがある。このようなツールが関心を持っていただけのものになるので、一定のルールのもとに、ぜひ予算化をお願いしたい。

（山中課長）

環境フェアでは、30～40 団体が出展しているので、お約束はできない。ただ、今後、実行委員会の中で話していきたい。

（赤尾会長）

墨田区は、環境共創プラン・環境基本計画の中で位置付けられて、共創というのが特徴でもあり、環境問題を考える上でのキーワードになっていると理解している。共創というのはみんなで話し合って、みんなでやっていこうということである。特に今の時代に、カーボンプライシング等の政策があるが、それだけでは環境問題の解決が難しい。そこで、みんなが話し合うような場を作っていくことが重要であり、この環境フェアも話し合う場を作るきっかけの大きなイベントだと思っている。一方で、すみだ環境共創区民会議という共創の名がついた会議があって、まさに墨田区の環境行政の共創という理念を実態として実行している。その辺の特別な意味合いというものを、今後検討していただくと良い。

（おまた委員）

今回の環境フェアは、オリナス錦糸町で開催したので、参加した方が生き生きしていた。清掃車やデロリアン等は、より色々な方が目にして実際に体験している様子を見ることができた。その中で今回は相当な集客があったと思うが、次回もまたオリナス錦糸町で開催するなら人もたくさん来ると思うので、区の方でできるようなことがあれば、たくさん行っていった方がいいと思う。

（江尻委員）

古着の回収とフードドライブについて、会場は錦糸町 PARCO、主催は墨田区ということか。状況を教えていただきたい。

（菜原課長）

今回は錦糸町 PARCO がサステナ祭、錦糸町マルイが不用品回収フェアを開催するに当たり、サステナ祭に出張する形で参加した。古着に関しては 2 日間で 230 キロ以上を回収した。フードドライブについても、累計で 15 人程に来てもらい、コンテナ一つがいっぱいになるぐらいの回収量だった。フードドライブに関しては、錦糸町エリアはファミリーマート等と連携し、常設回収がかなり捗っているエリアなので、イベントでの回収が少なくなっているという印象があった。

（赤尾会長）

次に鳥獣被害対策の実施について、何かご意見等あるか。

（おまた委員）

鳥獣被害対策に関して、東白鬚公園にムクドリが来ており、鳴き声について苦情が来ている。しかし、東白鬚公園は都の公園になる。その場合、墨田区として対策はできるのか。

（山中課長）

飛んでいる鳥獣の捕獲は難しい。

（おまた委員）

その場合、この報告が上がってくる過程で都の方に促す形になってしまうのか。

（山中課長）

そのようになる。

（おまた委員）

特に区の方から促すというのではないのか。

（山中課長）

特に行ってはいない。

（赤尾会長）

平成 27 年頃から状況として何かが変わったので、被害が出てきたというのか。それとも以前からあったが、住民の方の意識が変わったのか。その辺のところはどのように分析されているか。

（山中課長）

東京都の資料によると、上野動物園でウミネコを飼っていたが放鳥してしまった。そこから繁殖が始まり、台東区から江東区、墨田区に広がってきた。

（赤尾会長）

次に雨水ネットワーク全国大会 2024 in すみだの開催について、何かご意見等あるか。雨水利用に関して、家庭に雨水をためる雨水タンクがあるが、基本的には、区民の方への雨水利用の促進というのは、雨水タンクみたいなことになるのか。それとも、他にもあるのか。

（菜原課長）

現状で区民向けには、雨水タンクの助成がある。その他にも 40 年以上前からの雨水活用の歴史やこれまでの取組等を子どもから大人まで教える出前授業を行っている。

（赤尾会長）

雨水タンクの普及はどのようにになっているか。

（菜原課長）

雨水タンクの普及に関しては、近年で補助申請の実績が徐々に減少傾向にある。色々な形で雨水利用が全国的に進み、タンクだけではなく雨庭を整備し、水をゆっくり流すような砂利を敷いたり、雨どいから簡単に水を導くような雨どいプランターが開発されてきたり、あらゆる形で雨水利用が行えるようになってきている。

（赤尾会長）

最後に審議会の統合・再編について、何かご意見等あるか。

（おまた委員）

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>審議会の統合に至った理由について教えていただきたい。</p> <p>（菜原課長）</p> <p>当検討は昨年度からさせていただいているが、資源環境部という新たな部になって環境行政・清掃行政、それまで別々に審議されていたものを資源環境部として一体的に審議していくような形で、様々な施策をゼロカーボンに資するような取組にしていくなような方針で動いている。その一環で審議会に関しても、環境分野・清掃分野分けずに一緒に審議していくことで、一体的に資源環境課題としてとらえていくことができるのではないかと考える。そのような流れで統合について検討していくことになった。</p> <p>（小和田委員）</p> <p>事業者のところについて、環境と廃棄物で関与する事業者が違うと思う。人数が減少する部分について懸念事項はあるか。</p> <p>（菜原課長）</p> <p>人数が減少することに関しては、慎重に検討していき、審議会委員に意見聴取しながら今後検討していきたいと思っている。</p> <p>（江尻委員）</p> <p>事業者というのは、物を製造・販売する動脈系の事業者ということか。例えば廃棄物の審議会だと、廃棄物に関連する廃棄物事業者が入ると思うのだが、その辺りについてどのように考えているか。</p> <p>（菜原課長）</p> <p>その辺りも含めて一緒に考えなければならない部分もある。動脈産業・静脈産業の両事業者を委員のメンバーに含める形で検討していきたいと思っている。その辺りは学識経験者や事業者の方の知見をお借りし、検討していきたい。</p> <p>（江尻委員）</p> <p>現場を持っている人たちが入るということは非常に大きなことだと思うので、ぜひ検討していただきたい。</p> <p>（赤尾会長）</p> <p>以上をもちまして、本日の審議회를閉会とさせていただきたいと思います。お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございました。</p> |
| 所 管 課 | 環境政策課環境政策担当（内線 5 4 7 2）   |